

短歌・俳句・川柳

せんまや 市民センター

発行：千厩市民センター
発行日：平成30年12月25日
電話：52-2309 FAX：53-2565
皆さんからの情報をお待ちしています

パステルアートなどを学ぶ

千厩市民センターでは元気セミナー後期講座を、このほど開催しました。セミナーは全3回で、パステルアートなど、それぞれ興味深い内容。参加者は、この新鮮な体験をする中で「勉強になるものや、生活に活かせるものもあり楽しかった」と話していました。これで今年度の「元気セミナー」は終了となりましたが、来年度も工夫をこらしたセミナーを開催する予定です。



「パステルアート」講座(11月13日)講師の分かりやすい説明もあり、素敵な絵が完成しました。



「エコクッキング」講座(11月21日)環境に優しい料理方法だけでなく、味も抜群でした。



「リサイクルを楽しく体験」(11月27日)一関清掃センター・リサイクル棟の見学やリメイク工芸で知識を高めました。

図書館まつりで「花は咲く」など合唱



千厩図書館まつりは2日、同館で開催され、市民センター講座の「館山音楽校」のみなさん8人が出演し、美声を披露しました。この日は、講座で練習してきた14曲を披露し、会場のみんで「花は咲く」などを合唱し、大変盛り上がりました。

川柳会員募集中(連絡先・・・5215501 白鳥)

千厩短歌会

公園の砂場に秋の陽はみちてジョロとシヤベルで遊ぶ幼な子
何もかも炬燵のそばに積み重ね手を延ばしつ日々過ごしをり
日々変わる事に対応しながらも米寿は早やに終わるを
取入れの済みし南瓜の蔓引けば枯色蠶繭おるおる動く
初霜のおりし日なれどぼっかりと浮雲ありて陽は暖かし
道の駅から夕焼を眺めれば幾何学模様は北上大橋
球根を土に眠らせユールツツ春に咲いてと約束交はす
物陰の風の淀みに冬の蝶残り少なき命舞ひをり

雅彦 操子 清子 ヤシ子 雅子 喜恵 史男

三島俳句会 兼題「牡蠣」 「寒波」 「当季雑詠」
強霜に鳥も声も失えり よし子 冬支度箱に出すもの入るもの
寒波来て回覧板の長居かな 一好 浜ことは投げて牡蠣剥く女かな
木々の影宿して白き障子かな 弘明 牡蠣屋台姉妹もてなす道の駅
牡蠣吸ひて海の香りを胃に落とす 曲水

真木 白鳳 妙女

萩の会 兼題「干柿」 「立冬」 「当季雑詠」
保育園丸ごと包む冬の虹 秋江 里神楽椅子は青色りんご箱
山積みになりとも軽き落葉籠 爽 日当たりの落葉に埋もれ猫昼寝
回覧板受けて渡して暮早し 和喜 初霜や顔のあちこち尖んがりぬ
柿干して老女今年も一人住む 乙女 暮早し最速にする印刷機
乳呑児の袖を伸ばして初の冬 子緒 立冬と窓の曇りをなぞりたる
仏膳の仄か湯気立つ今年米 雪 戸を叩く疾風ありて冬来る
窓拭きと障子張りする父子かな 紫蘭子 いただき待つ冠雪を遠く見ゆ
鳥渡る右も左も空一面 一古 暮の町照らしてくれる本屋さん
干柿のかすかにゆれるよき日和 川古 「おぼんがです」やと身につき冬ぬく
あめ色の出来上り待つるよし柿 万年青 西日受け軒にすらりと吊柿
干柿や赤いすだれ物干し場 清香 冬の雲隙間なく空うめにけり
照る日うけ水鳥の群れ戯れる 京子 夕だまりのまばゆき銀杏落葉かな
干柿の皮むく人は元氣なり 光風 日暮れて熊鈴つけた子の迎え
すすき野に霜張りつめて日は昇る 香里 施肥をして庭仕舞する小春かな
干柿の籠にジャンプ小猫かな 香里

この実 かおる子 花乃 助 若郵 一誠 井鷲 美郎 春雪 秋水 碧 春星 景香 のどか

千厩川柳同好会 題「米・開」
収穫のよろこび分ける縁故米 福男 米離れ結いの心も忘れられ
一人飯チンが返事の温かさ 昭子 自動ドア慣れて開くの立って待つ
辞書開く事すらなくて見るスマホ 菜々 新米だ食べる前から「おかわりだ」 清風 木偶坊 渋柿

親子体験スクール 版画教室 お知らせ



千厩市民センター主催の親子体験スクールは9日、16人の参加で開催しました。今回は「版画教室」でした。

1月中旬～3月までの間、千厩市民センターの日本間と中会議室は、改修工事のため、一般の利用ができなくなります。ご迷惑をおかけしますがご了承ください。



熱心に制作方法を聞く受講者のみなさん。このあと力が次々に生まれました。

